

重点的取組みの現状（健康いきがい課）

生涯学習・スポーツ活動といきがいづくりの支援

1 事業名

いきいき福祉大作戦

2 事業の内容

元気な高齢者が気軽に社会参加できるきっかけづくりを実践する。

3 取組みの現状

マイスター制度登録 64人 ボランティアまつり・湯ゆう健康教室等への参加
いきいきパスポート 100時間以上達成者 11人
いきいき携帯電話教室（竹箒の会と協働） 3回実施 180人参加
いきいきメイクアップ教室（美容専門学校と協働）4回実施 80人参加

4 平成19年度の課題及び今後の展開

民間団体や新たな NPO 法人等との協働を進め、高齢者の健康づくりや介護予防を促進する。
生涯学習財団（レガス）との制度連携等を協議する。
Ex.人材バンクとマイスター制度、レガス主催の各種講座への吸収等

1 事業名

いきいきウオ - ク新宿

2 事業の内容

いつでもどこでも気軽にできるウォーキングを通じて、高齢者の健康づくりや介護予防を推進する。

3 取組み状況

新宿ウォーキング協会と協働
ウォーキング参加者数 12回 延約720人

4 平成19年度の課題及び今後の展開

安心して歩ける「ウォーキングコース」を設置する検討を行う。（2コース）
ウォーキング活動をリードする指導者や活動グループを育成するなどウォーキングの普及を進める。
公園に高齢者用の低負荷遊具を設置し、高齢者が健康づくりのために利用できる「いきいきパーク」として整備する検討を行う。（2ヶ所）

1 事業名

高齢者福祉施設の活用（ことぶき館・高齢者いこいの家）

2 事業の内容

60歳以上の高齢者相互の交流を図り、健康で生きがいのある生活が送れるよう、談話室や娯楽室を設置し地域の方々（清風園は都民利用可）に憩いの場を提供している。ことぶき館 21 館と高齢者いこいの家清風園の活用により、高齢者の閉じこもり防止、健康づくりや社会参加を促す役割を担っている。

3 取組み状況

ことぶき館 21 館の利用者数 個人利用 225,624 人 団体利用 120,525 人
清風園の利用者数 38,082 人
「ことぶき館のあり方検討会」を設置し 5 回開催する。新しい高齢者施設としての「ことぶき館」のあり方を検討し「報告書」をまとめる。

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

「報告書」に基づき、今後のことぶき館のあり方を区民に周知し機能拡大を推進していく。
自主活動事業等をとおして地域住民との交流を図っていく。
清風園についても今後のあり方を検討し、有効活用を図っていく。
全般に施設の老朽化が激しいため施設機能に合わせて順次整備をしていく必要がある。（実行計画での整備）

1 事業名

ふれあい・いきいきサロン【健康いきがい課（新宿区社会福祉協議会）】

2 事業の内容

高齢者の閉じこもり防止につながる「ふれあい・いきいきサロン」を区内全域への広域な展開を図り、高齢者も担い手として積極的に社会参加していくことを促進する。

3 取組み状況

社会福祉協議会が行っている事業を推奨し、平成 16 年度から推進員を 1 名配置している。
特別出張所のあるボランティアコーナーとの連携を図り、広域に活動の援助を展開している。
サロン数 平成 18 年度末 37 サロン（子育てサロン等を含む）

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

社会福祉協議会のコミュニティーワーカーを小地域にチーム制で配置し中間支援機能を活かしていく。
地域の生活ニーズについての情報収集を行なう。
サロンに適した場所や場の提供者の情報収集・確保を図る。
サロン活動の中心となる人材と参加・支援する人材の発見・育成行う。
サロンの意義、必要性、取り組みについて周知・広報活動を充実する。

1 事業名

民間カルチャースクール等との連携

2 事業の内容

区内のカルチャースクールなどとの連携をすすめることで、高齢者の学習活動のきっかけづくりを支援する。

3 取組み状況

朝日カルチャーセンターとの提携により、高齢者の入会金が免除され、当センターの活動展示会では、いきいき福祉大作戦のPR活動を実施している。

4 平成19年度の課題及び今後の展開

広く活動範囲を確保している点では高齢者にとって有意義であるが、利用者が少ない状況であるため、今後の方向性について検討する必要がある。

1 事業名

生涯学習情報の提供と学習相談【新宿区生涯学習財団】

2 事業の内容

人材バンクに能力、知識及び技能等を登録している方を、地域の要望に副って派遣し活躍する場を供する制度である。

3 取組み状況

平成18年度末現在登録者（活用件数）

文化 139人（35件）

スポーツ 267人（89件）

4 平成19年度の課題及び今後の展開

活用件数の増加

地域で求められている文化とスポーツの総合化への参画と参加を推し進める。

1 事業名

高齢者教養講座【新宿区生涯学習財団】

2 事業の内容

旧高齢者大学の卒業生で構成されている運営団体に委託し、高齢者への講座を年間を通して開催している。

3 取組み状況

運営団体 20団体 年24コース、延235回実施

内容；歴史・文学・時事問題等

4 平成19年度の課題及び今後の展開

団塊の世代を見越し、運営団体の会員増強を図る。

講座へ参加する高齢者数の増加を図る。

多様な地域活動への参加支援

1 事業名

シニア活動事業助成

2 事業の内容

半数以上が 55 歳以上の区民が、高齢者以外の方を対象とした地域で行なう社会貢献活動の準備及び運営に係る経費の助成を行う。(上限 1 団体 30 万円)

3 取組み状況

応募件数 6 件 外部審査員を含む審査会を開催し 5 団体に助成を行う。
助成団体 5 団体
合計助成金額 510,000 円

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

アクション 04 事業であったため 18 年度で終了。平成 19 年度からは高齢者福祉活動基金に包含し、高齢者の社会貢献活動を支援する。

1 事業名

ボランティアセンターによる支援事業の活用【新宿区社会福祉協議会】

2 事業の内容

ボランティアの相談・情報提供、収集・活動拠点の提供を行なう。

3 取組み状況

相談件数 6,329 件 (5ヶ所のボランティアコーナー分を含む。)

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

相談・情報提供等の充実を図る。

1 事業名

高齢者社会参加システムの構築

2 事業の内容

団塊の世代等の豊かな知識と経験を持つ高齢者がそれぞれの状況に応じて、参加しやすく、能力が発揮できる社会参加システムを構築する。学識経験者、ボランティア団体活動者、公募区民等からなる「高齢者社会参加システム協議会」を設置し、平成 17 年度及び平成 18 年度にシステム構築の検討を行い、平成 19 年度にモデル事業の実施を目指す。

3 取組み状況

平成 17 年度に実施した「高齢期の社会参加に関する意識調査」の報告書を参考に、協議会を平成 18 年度まで 7 回開催した。
平成 18 年 10 月に「高齢者の社会参加システムの構築に関する検討結果報告書」が協議会から区へ提出された。この報告書に基づき、平成 19 年度に実施するモデル事業を決定した。

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

「高齢者の社会参加システムの構築に関する検討結果報告書」に基づき決定したモデル事業を平成 19 年度に実施する。

地域福祉活動の参加と支援

1 事業名

ふれあいのまちづくり事業助成【新宿区社会福祉協議会】

2 事業の内容

誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、区民が自主的に参加し、共有する問題の解決に向けて取り組む地域における支え合い・助け合いの活動に対して経費の一部を助成する。

3 取組み状況

地域の行事やサロン活動へ助成を行った。

11 団体 計 1,424,000 円

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

積極的に幅広い周知を行い、利用者の増を図る。

高齢者の就業の支援

1 事業名

シルバー人材センターへの支援

2 事業の内容

社団法人新宿区シルバー人材センターの事業運営が円滑に行われるように、必要な経費の一部を補助することで、高齢者の方々の就業機会の増進及び生きがいのづくりの一助とし、地域社会の発展に寄与することを目的としている。

3 取組み状況

新宿区シルバー人材センター経営改善計画の初年度に当り、センター運営等に積極的に多くの会員が参画し 各種イベント等で会員募集を行った。また、会員資質の向上のための研修を充実し 就業機会の確保等を目標に事業部会を 4 回、事業開拓委員会を 6 回開催し、事業開拓・会員研修及び独自事業開発について検討を行った。

団塊の世代等に対応するため事務系就業希望会員に対してアンケート調査を行った。

経営改善計画に則り、牛込分室・細工町高齢者作業所の廃止、本部及び西早稲田高齢者作業所への統合を行った。

会員数 1,746 人 就業実人員 1,271 人 受託件数 11,327 人

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

経営改善計画の遂行

会員の増加

就業率の向上

団塊の世代を視野に入れたホワイトカラー向けの就業分野の開拓や求職に対応する新たな体制づくりにも力を入れる。

1 事業名

高年齢者就業支援事業（新宿わく ワーク）の実施・運営助成

2 事業の内容

新宿区社会福祉協議会が無料の職業紹介所を開設し、相談員を配置することにより、就業意欲のある概ね 55 歳以上の区民等を対象に、就業相談、職業紹介等を行うとともに、地域における多様な就業、就労等の情報を収集提供する。区は新宿区社会福祉協議会に対して運営経費を助成する。

3 取組み状況

日常の就業支援に加えて、2 回の合同就職面接会の実施のほかキャリアカウンセラーによる再就職支援活動等を実施した。

| | | | |
|-------------|-------|---------|---------|
| 登録者数（新規登録者） | 461 人 | 就職者数 | 281 人 |
| 独自開拓事業所数 | 302 件 | 独自開拓求人数 | 1,339 人 |
| 就職率 | 61% | | |

4 平成 19 年度の課題及び今後の展開

新規登録者に対する就職者数の割合（就職率）は 61%と好調であるが、独自開拓求人数に対する就職者数（214 人）の割合は 16%であり、今後は、この割合の引き上げが課題となっている。